

割だと考えている。また、市だけでは環境づくりという行政の役割を十分担うことはできないので、関係団体との連携を強化し、協働体制を築いていきたい。その上で、市民のニーズや現状を把握し、豊かな自然など丸亀に今ある地域資源を最大限に生かし、丸亀らしいスポーツの振興を図っていきたい。



中小のため池 決壊対応どうする

◎真鍋議員 地震や洪水などによりため池が決壊した場合に甚大な被害が想定されることから、貯水量10万トン以上のため池については氾濫解析を行い、ため池ハザードマップを作成している。しかし、ハザードマップ対象外の10万トン未満の中小規模のため池の取り扱いはどうする

に考えているのか。

▲産業文化部長 中小規模のため池も決壊すれば、周辺住民への甚大な被害が予想されることから、避難誘導に実効力を持たせるためにも、中小ため池ハザードマップの作成は必要である。県は、中小規模のため池についても国の交付金を活用しハザードマップ作成事業を促進する考えであり、本市では現在、市内にある大小さまざまなため池とその周辺の状況による箇所づきの検討を行っている。

旧丸亀藩おこしで 地域活性化を

◎片山議員 丸亀市では長年、中心市街地の空洞化や街なか再生が課題となってきた。その解決の切り口として、丸亀の城下町を三豊、観音寺まで視野に入れ、歴史や文化、経済の交流を起こしていく視点から、昔の統治地域の人々の縁を掘り起こす「旧丸亀藩おこし」にチャレンジしてはどうか。

▲都市整備部長 旧丸亀藩をひとくくりとし、歴史や文化遺産を共通認識としたきずなのネット

トワークづくりという斬新で夢のある提案だが、自治体の枠にとらわれず、さまざまな視点からテーマを設け、新たなネットワークを築くことは、今後の地域活性化に必要な発想である。本市では昨年度から定住自立圏構想に基づき近隣自治体と広域的な対策を推進することで圏域全体を視野に入れた魅力あるまちづくりを進めており、今回の意見も参考にしたい。

カマタマーレ讃岐 市は支援を考えよ

◎大前議員 カマタマーレ讃岐が、本市に出資支援を求めているが、市長は、Jリーグ昇格に向けた市民の盛り上がりは高まっておらず、もう少し議論が必要とコメントしている。今後の地域活性化や、本市の成長戦略の面でも出資すべきと考えるが、どうか。

▲市長 カマタマーレ讃岐への出資は、本市にとって経済効果も含めた地域活性化につながることから支援を望む意見もあったが、6月議会で諮るには説明不足となる恐れもあり、今回は

補正予算の提出を見合わせた。しかし、同社は新経営方針に従い着実に債務の解消を図っており、また地域でのサッカー交流など地域とのつながりを重視したホームタウン活動を重点的に展開していくことから、今後も継続して検討し、9月議会までに結論を出し議会に諮りたい。



カマタマーレ讃岐を応援（県立丸亀競技場）

投票率の低下 どう改善していく

◎三木議員 国政選挙でも地方選挙でも投票率は下がっており、4月の市長・市議選の投票率は、これまでで最低の数字である。投票率の低下についての見解と、原因や課題をどう分析し、今後

どのように改善していくのか聞きたい。

▲総務部長 投票率が過去最低を記録したことは、非常に残念であり、予想以上の政治離れの加速に危機感を抱いている。投票率は、選挙の争点や候補者などさまざまな要素が影響するが、今回の市議選は、立候補者数が少なかったことが大きな要因であり、市長選の投票率にも影響したのではないかと推測している。特に若年層の投票率が低く課題となっていることから、今後はこれまでの地道な啓発活動に加え、若年層にアピールする手段としてツイッターやフェイスブックなど新しい情報ツールの活用も調査研究していきたい。

子ども医療費助成 いつから実施するのか

◎中谷議員 市長は子どもの医療費無料化の年齢引き上げを選挙の公約に掲げていたが、対象年齢や実施時期、また年齢引き上げによる効果をどのように考えているのか。

▲市長 本市では現在、満7歳までの医療費を無料にすると

もに、入院医療費については、中学卒業まで無料にしている。子育て家庭の負担を軽減するため、通院医療費無料化の中学卒業までの拡充について、早ければ来年度からの実施を視野に検討していきたい。また、助成年齢の拡充は、子育て家庭における経済的負担の軽減による若者の定住促進や、早期受診で重症化を防ぎ医療費抑制につながるなど、多くの間接的効果が期待される。他の子ども・子育て支援制度とも連携し、その効果が増幅するような施策を展開していく。



お困りです課設置 市長はどう考える

◎内田議員 市長室を3階から1階に移し、市長が1人で一生懸命市民と応対する政策という

よりも、900人の優秀な職員が市長の名代を務めるという政策について、どう考えるか。また、市民の用事にワンストップで対応、担当職員が市役所の中を横断し、受け付けた職員が責任ある回答をする「お困りです課」を設置する考えはないか。

▲市長 私が率先して市民との対話に臨む姿勢を実践することが、職員が地域や市民の声に耳を傾け、充実した対話につながるという意味では、議員が言う900人の市長と同じ方向ではないかと考えている。

▲企画財政部長 ワンストップでの対応やたらい回しの改善については、今後の全庁的な組織



市役所本館ロビーに1階市長室を開設

機構の見直しの中で検討していくとともに、所管である総務部を中心に改善に向け取り組んでいく。

イベント誘致に 市長はロビー活動を

◎佐野議員 新設される野球場や県立丸亀競技場にスポーツ以外のイベントを誘致することは、本市のスポーツ・文化の発展に大変有意義である。そのため、イベントなどの機会に市長みずから先頭に立ち、新設される野球場などでの開催を求めロビー活動を考える考えはないか。

▲市長 地域間の交流人口を増やし、にぎわいある元気なまちづくりを進めていくためには、大規模なイベント等を積極的に招致していくことが非常に効果的である。

また、文化・スポーツに関する各種イベント等を開催することは、本市の文化・スポーツの振興にも寄与する。

今後は私みずから先頭に立ち、あらゆる機会を通じてトップセールスを積極的に行い、各種イベントなどの招致に努めたい。

今年もやります!

議会報告会

11月9日(土) 午後6時30分

- 栗熊コミュニティセンター3階多目的ホール
- 市民会館中ホール

11月16日(土) 午後2時

- 飯山市民総合センター4階多目的ホール
- JA香川県丸亀支店2階会議室(郡家町)

予定している内容

1. 議会報告

5月、6月、9月議会の内容報告

2. 意見交換会

市政について、議会について意見を交わしましょう。

*皆様からのご意見には、すぐに答えられないものもありますが、後日報告するなど、きちんと対応いたします。

入場
無料

どこの会場へも
ご出席いただけます。



お誘いあわせのうえ、
お気軽にお越しください

「議会報告会」とは?

平成24年3月議会で丸亀市議会基本条例が制定され、4月1日から施行されました。

開かれた議会、参加できる議会へ、議会自らが脱皮していこうとの意気込みで、同条例第7条に基づき開催するものです。

昨年度は、春と秋に計4回開催し、①説明がわかりにくい、②資料が足りない、③質問の時間をもっと多く—などのご意見をいただきました。しっかり受け止め、改善しながら取り組みます。

議員個人はそれぞれの活動の中で、市民の皆様の声を受け止め行動しますが、議決機関である「議会」として、皆様に報告し、質問にお答えするという趣旨です。個々の議員の報告会ではありません。

充実した地方議会とするために、議会と触れ合う場所にぜひお越しください。



6月					5月					4月														
27日	26日	25日	24日	18日	17日	14日	13日	6日	3日	28日	24日	23日	21日	20日	16日	10日	8日	7日	1日	22日	17日	16日		
教育民生委員会市内視察	都市経済委員会市内視察	市庁舎整備等特別委員会	議会改革特別委員会	全員協議会	各派会長会	生活環境委員会	総務委員会	都市経済委員会勉強会	都市経済委員会	教育民生委員会協議会	教育民生委員会	広報広聴委員会	全員協議会	議会運営委員会	各派会長会	各派会長会	各派会長会	各派会長会	各派会長会	各派会長会	各派会長会	各派会長会	各派会長会	各派会長会

●議会の動き 4・5・6月

新人議員の
つぶやき…

《誌上ツイッター》

初議会を終えて。

新人議員にとって緊張の初定例会。そこで新人議員3名が登場し、6月定例会に臨んだ感想や議会の印象をつぶやかせていただきます。

今回は新人7名のうち3名です。

(次号に続く)

今回の6月議会では惜しくも質問に立つ機会はなかったのだが、この夏はしっかりと市を取り巻く経済情勢等について調査・取材を行い、丸亀の地域や事業所が、もっともっと活性化され、元気になる政策課題を打ち出し、9月議会に向かって頑張らないかん、と決意しました。



川田匡文

議員当選後、初の議会で3項目に分けて一般質問させていただきました。ありがたいことに、当日を迎えるまでに先輩議員の方々から細かいアドバイスをいただいたことで、大変参考にもなり、本当にありがたかったです。次回は“市民の声”をもっと議会に届けます。



水本徹雄

もっともっと深く話さなければなりません。そのためには、私自身にも、議会にも、丸亀市にも、いろんなものが足りないことを初議会で痛感しました。これからも地元「丸亀市」を元気にするために全力で行きますので、ぜひ皆様の「声」をドンドン聞かせてくださいませ！



神田泰孝

ご案内

次回定例会は9月上旬に開会予定です。



(後列左から) 加藤 松永 大前 神田 藤田委員
(前列左から) 川田 内田 三宅 山本 水本委員

広報広聴委員 藤田伸二

今年も市役所にゴーヤなどのプランターが並び「緑のカーテン」を作っています。この「緑のカーテン」。毎年植え付けしていると思っていたのですが、前年のプランターに水をやるだけで、残っていた種が発芽して育つのだそうです。この夏は原発事故の影響などにより、電気料金値上げが言われています。手軽にできる省エネは、環境への配慮だけでなく、経済的な自衛手段としても、とても有益だと思えます。

広報広聴委員も新メンバーで取り組んでまいりますので、よろしくお願いたします。

編集後記